

1 級実技対策 ワンランク上のロールプレイ 本試験ケース対応と口頭試問の強化講座

日程	2024年1月27日(土)	9:15~16:15	会場	すみだ産業会館 9F	JR 錦糸町駅下車
	2024年2月3日(土)	9:30~16:30	会場	東京都産業貿易会館 浜松町館 4F	JR 浜松町駅下車
受講料	会員価格 22,000 円 (税込み)			一般価格 25,000 円	
<p>ロールプレイの練習ではうまくいっても、試験会場では想定外のことが起きるなどして、持っている実力を発揮し切れないことがあります。その場合、口頭試問において「できませんでした」という答えは禁句です。試験官は「できなかった」という人に合格点は付けないからです。</p> <p>面接試験は、事例相談者との相性に左右される部分もあるので、面接が上手くいかなかったとしても、口頭試問で「上手くいかなかったことをわかっている」、本来であれば、このような事例相談者に対しては、「こういう意図で、このように支援したかった」という構想を伝え、試験官に伝えることで、そのRPを見ていた試験官が「そうだね」という感覚を持つことで、評価を得ることが可能です。</p> <p>講座では、本試験での対応を口頭試問でどう答えれば、「加点」に繋がったり「逆転」を狙えるかをお伝えし、実践していただきます。</p>					
講座の内容	1	第13回本試験のケースを使ってロープレを行います。			
	2	受講者メンバーは、1日固定ではなく、途中でシャッフルされるため、様々な受講者とロープレができます。			
	3	口頭試問がある試験とは何かを理解し、うまくいかなかった面談の時に有効活用することを理解します。			
	4	ロープレでうまくいかなかった内容を、口頭試問に紐づけ、評価区分を意識してロープレをしていることをアピールします。			
	5	口頭試問はなるべく短めに（要約して）1日何組もロープレを見ている試験官に短時間でアピールするコツを学びます。			
	6	どうしても、具体的展開（方策の実行）まで行かないと悩んでいる方は、口頭試問で逆転できることを理化します。			
	7	フィードバックとして、感想ではなく、試験官が評価している評価区分にどうすれば近づくかを全員に講師からお伝えします。			
■1 級試験を受検する前に					
<ul style="list-style-type: none"> ・1 級試験は、事例相談者役の「行ったことと心配なこと」への対応と「気がついていない面談スキルの是正」をロールプレイで行う試験です。 ・口頭試問は、自分の面談を客観的に俯瞰できることを示して、評価区分に結び付け、加点につなげていきます。 ・自分の面談を客観的に評価できる人こそが、1 級指導者として後進を指導できる実力を持っている評価できます。 					
1月28日(日) 2月4日(日)は本番さながらシミュレーション講座です。2日続けてのご受講は成長が実感できます。					